

領域開拓プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

- ◆課題:「認知科学的転回」とアイデンティティの変容
- ◆研究テーマ:脳機能亢進の神経心理学によって推進する「共生」人文社会科学の開拓

研究期間:H29.10~H32.9
委託費総額:13,163千円

<研究代表者>

小山慎一:筑波大学芸術系/教授



<専門分野>
神経心理学, 知覚心理学, デザイン学
<Webページ>
<https://koyamalab.geijutsu.tsukuba.ac.jp>

<研究目的・概要>

- ・脳機能亢進が引き起こす「敏感な人」と「敏感でない人」の共生の難しさ



脳機能亢進という新たな視点から神経心理学を推進し, 人文社会科学・デザイン・芸術に応用

- ・脳機能計測・心理学実験によって敏感さが引き起こされる仕組みを解明
- ・「敏感な人」に快適な住環境をデザイン
- ・アウトリーチ活動を通じて研究成果を発信

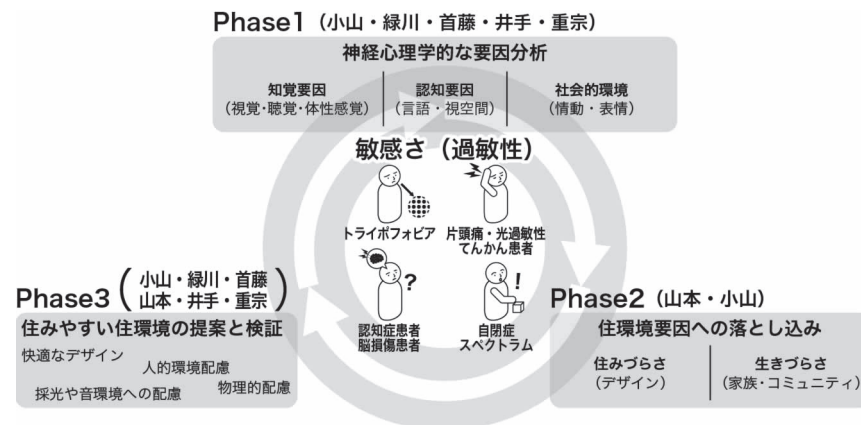
「敏感な人」と「敏感でない人」が互いに理解しあい能力を発揮できる社会を目指す

<研究計画の特徴>

- ・「脳機能亢進の神経心理学」という従来とは逆の視点からの認知機能・脳機能の解明
- ・「敏感な人のためのデザイン」の開発
- ・積極的な情報発信による「敏感な人」と「敏感でない人」の相互理解促進

<目標とする研究成果>

- (1)「敏感さ」の認知・神経基盤の解明
- (2)「敏感な人」と「敏感でない人」の共生の促進



<将来展望>

- ・「敏感さ」の理解と制御を軸に「共生」人文社会科学を新たな学術領域として発展させる